

長野史料ネットワーク

第7号 (最終号)

《平成 12 年度第一回 文献史料保存 活用講習会開催について》

花の便りが聞かれる頃となりました。
ここ更埴はアンズから桜、そしてチュー
リップへと花が移っていきます。

標記の講習会も五年目を迎えました。
通算で7回目の講習会のお知らせをいた
します。

期日：6月1日(木) 11:00～15:30
場所：長野県立歴史館講堂
テーマ：史料保存の基礎
講習 中性紙による史料の保存
専門主事 梅原康嗣
講演 史料保存の今
—世界・日本・長野—
国際資料研究所代表 小川千代子氏
(長野県史料保存活用連絡協議会
設立総会が 10:00～開かれます)

講習では、中性紙で史料保存をする
ということの意味を問い直します。できる
だけやさしく基礎から学んでいけるよう
にしたいと考えています。また、現在あ
る古文書をどのように保存していけばよ
いか、材料の共同購入化への取り組みも
進めたいと考えています。県内の史料
保存利用機関の実態や県外の状況に照ら
して、今後の方向を示せたらと思います。
秋の講習会では実習を予定しています。
両者をあわせて「中性紙による史料の保
存」のブックレット(県史料協による)
にまとめたかどうかと考えます。

史料協の発足の総会については、次項
でふれます。

今回の講演をしていただく講師を紹介
します。

小川千代子氏

所 属：国際資料研究所代表

略 歴：米国公認アーキビスト

日本で唯一、文書館専門のコンサル
タントとして、また国際資料研究所の
代表として活躍。全資料協(全国歴史
資料保存利用機関連絡協議会)では、
国際交流委員会の副委員長として、国
際大会に参加。関東部会では理事およ
び運営委員の座長として活躍している。
全国への講演活動をはじめ、世界的な
視野で活躍中であり、グローバルな視
野からのお話が伺えるものと期待され
る。

出版・執筆：

DIJ バイマンズリーレポート(隔月刊
国際資料研究所)

「情報公開の源流」(1996.11 岩田書店)

「アーカイブズの ABC」(「月刊 IM」
日本画像情報マネジメント協会)

「文書の管理と保存とは」(「行政&
ADP」行政情報システム研究所)

「世界の文書館」(2000.4 岩田書店)

ほか多数

講 義：

東京学芸大学「文書館学」

学習院大学総合講座「記録保存と現代」

ほか

講 演：

「情報公開と文書管理・公文書館の役割」

(1999.2.19 沖縄県公文書館)

「情報公開と文書館」

(1999.3.13 松本市文書館)

ほか

《出版物の紹介》

平成 11 年度の第二回目の講習会で講演をいただいた、松本市文書館の小松芳郎館長がこのたび文書館関連図書を出版している岩田書院からブックレット4として「市史編纂から文書館へ」を出版されました。

松本市史の編纂から9年6か月目にして文書館の開館にこぎつけたその実践を余すところなく紹介しています。



すでに全国歴史資料保存利用機関連絡協議会でもこのテーマについて講師として発表されており、全国から注目を集めている実践です。市史の刊行は史料保存の終着点ではないという立場から、どう史料調査をおこない、いかに史料整理をおこなったかが読みとれます。新しい史料調査、旧役場文書の整理、情報交換の場としての「たより」の発行など具体的な活動も参考になりますが、なによりも編纂後の史料の保存・利用を念頭においた活動がおこなわれたことを全国の関係者は注目しています。

講習会当日、販売する予定でおりますが、お急ぎの方は、松本市文書館までお問い合わせください（0263-47-0040）。

講演をいただく国際資料研究所代表の小川氏も同じくブックレット5を刊行されましたので、当日販売を予定しております。あわせて、情報交換の場としてご利用いただきたいと思います。

《長野県史料保存活用連絡協議会 総会について》

「(前略)長野県内の歴史資料として重要な公文書・古文書などを将来に伝え、ともに情報交換を図り、保存技能や知識を高めたいということが緊要の課題となっています。(略)長野県でも、このたび長野県史料保存活用連絡協議会を組織して、本県の貴重な歴史資料の保存等に早急に取り組むべきと考えております。」

一 目的

公文書館法の趣旨に基づき、県及び県内市町村が保管している公文書等及び地域の古文書・記録類を歴史資料として保存活用することに関して、会員相互の連絡と連携を図り、研究協議を通じて史料の保存の技術・知識の向上を図ることを目的とする。

平成6年度の講習会で提案されたこの会について準備会を組織し検討してまいりました。延べ4回の準備会で、会則や事業などについて原案がまとまり、6月1日の講習会当日、若干のお時間をいただき、みなさんと検討していきたいと思っております。どうか史料保存活用に興味をお持ちの方、お仕事から古文書や行政文書の整理等に携わられている方、自治体誌などの編さんに関わられている方、家に古文書を代々引き継いでいる方、お誘い合わせの上、ご参加ください。

長野県にも史料保存・活用の輪を広げようではありませんか。

※本号をもって準備会通信は終了です。
県史料協の通信もお楽しみに！

長野史料ネットワーク 第7号
発行日：2000年4月
編集・発行 長野県立歴史館
文献史料課
〒387-0007 更埴市屋代清水 260-6
TEL026-274-2000 (代)